

## V 計画策定後の効果の検証、調査手法

### 1. 計画実施の効果

計画期間内において、計画的に桜等樹木の再配置（更新）を進めることにより、以下のような効果が見込まれ、神之池緑地の魅力を一層高めていきます。

#### ●にぎわい拠点の形成

潤いと彩りを感じる桜等樹木の再配置（更新）とともに豊かな緑地を活かした施設整備等を進めることにより、憩いの場、レクリエーションの場としての魅力が高まり、市民をはじめ広く多くの人々を惹きつける、本市を代表するにぎわいの拠点の形成に寄与していきます。

#### ●良好な緑地環境の改善、優れた緑地景観の創出

老朽木や危険木の計画的な更新（植替え）、土壌等の植樹基盤の改善を計画的に進めることにより、緑地環境の全体的な改善が図られ、良好な緑地空間への改善と水辺も含めた優れた緑地景観の創出に寄与していきます。

#### ●市民等の参画の促進、神之池緑地に対する愛着や誇りの醸成

桜等樹木の再配置（更新）を中長期にわたって進めていく中で、桜等樹木の維持管理や緑地整備に係る市民等の参加を促進し、神之池緑地への関心や様々な形での関わりを高めていくことで、市民等の神之池緑地に対する愛着や誇りを醸成していきます。

### 2. 効果の検証、調査手法

計画実施の効果の検証方法について、以下に整理します。

- 市総合計画実施計画（毎年度、3ヶ年ローリング）への関連事業の位置付け、進捗管理  
実施計画の進捗評価（事務事業評価）による進捗管理
- 再配置計画に基づく更新・改善の履歴に対する定期点検の実施（枯れていないか、健康か等）  
市民等ボランティア（桜守隊）との連携
- 定期的なドローン等での航空写真による樹木等緑地の改善状況の確認
- 緑地活動団体の把握整理、イベント等の活動数・参加者数の把握の調査把握  
関係組織（観光協会、商工会等）、地域団体（自治会、学校等）、企業との連携